

## スマートファクトリー化で金型レスの新サービスを創出

クラフテックオカモトは、創業60年を誇る総合金属加工メーカーである。今年、同社にとってはじめての新サービス「クラフテック金型レス長期量産サービス」を提供開始した。新サービスはお客様から事前に図面を提供してもらいお客様が金型を廃棄または破損した状態でも金型レスで最長10年継続して製品を提供するサービスである。

このサービスを社内開発するにあたり二つの基盤があった。一つはクラフテックオカモトが業態転換をし続ける中、社内で更新され続けてきた製造品質規格「クラフテックワン」であり、もう一つは工場内のスマートファクトリー化である。クラフテックオカモトの前身は弱電メーカーのプレス部品を手掛ける量産工場である。リーマンショックを機に、業態転換を決意して全ての鍛圧機を手放し、レーザー・パンチ複合機などの大規模な設備投資を断行し量産プレス業から板金業に変化を遂げた。一般的な板金工場の場合、月産1万個量産という経験がないため生産数が増えると効率が下が

る。これは組織規模の大小に関わらず板金屋、プレス屋という業態の違いであり、しかたがないことではあるが、クラフテックオカモトは元量産プレス工場としての考え方がベースにあり、少量多品種から大量生産まで対応できる品質管理マネジメントが「クラフテックワン」なのである。

### メタモルフォーゼし続けられる理由

岡本太郎社長は語る。「クラフテックオカモトは、過去二度の大改革を経験している。一度目は旧組織、渡邊プレスから岡本グループへの強制的な構造改革、例えるならば黒船来襲と開国、二度目はリーマンショックでの板金業への変革これは敗戦による業態変革。そして三度目の今回は製造サービス業としての変革。製造サービス業になるには、いままで正確に取得してきた工程ごとの原価改善をリアルタイムに進める必要がある。そのためスマートファクトリー化は必然だった」

岡本太郎社長は続ける。「設備の見える化をスマートファクトリーという考え方もあるが機械の稼働率など意味がない。生産計画の精度をあげる必要もない。製品工程毎の作業時間を取得し、現場や営業部門にフィードバックが継続してできるようにしただけだ」

「機械の加工時間は短いが、設変により後工程が平均何分増えているので見積金額の調整が必要では?」。製造会議などで製造部門から営業部門にこういったフィードバックを具体的にするにはそれなりの準備がいる。クラフテックオカモトは一年かけて製品工程比較システムを完成、製品工程毎に実作業時間と見積書の工程時間を常時評価できるシステムがあるので実績データをもとにコスト削減をメーカーと一緒に考えられる。

オープンイノベーションを信奉する岡本太郎社長はメーカーからベンチャー企業まで毎年多数の工場見学を受け入れている。「防疫対策は万全なので安心して来工してほしい」と語った。



EMIDAS会員番号：78749

### 株式会社クラフテックオカモト

所在地：〒208-0023

東京都武蔵村山市伊奈平1-71-1

TEL：042-560-0551

FAX：042-560-2828

